

平成 25 年度 十勝農試 定期作況報告 **小豆** アズキ あずき

月	作況	事由
6 月 20 日	やや良	播種期は平年並で、播種後高温に経過したため出芽期は平年より 2～5 日早かった。その後も高温に経過し、主茎長および本葉数は平年を上回っている。以上のことから、現在の作況はやや良である。
7 月 20 日	良	7 月以降は高温多照に経過したため生育旺盛となった。前期からの生育の進みも加えて、主茎長、本葉数、分枝数ともに平年を大きく上回っている。以上のことから、現在の作況は良である。
8 月 20 日	良	7 月上旬からの高温により、開花始は平年より 2～3 日早かった。7 月下旬から寡照であったものの、前期に引き続き生育は旺盛で、主茎長、本葉数、分枝数は平年を大きく上回っている。現時点の着莢数は平年比 153～178%と多い。以上のことから、現在の作況は良である。
9 月 20 日	やや良	8 月下旬以降の多雨と寡照により、すべての品種で倒伏が発生した。成熟期は、平年より「きたろまん」で 2 日、「エリモショウズ」で 5 日早かった。「きたろまん」では、着莢数及び百粒重が平年を上回ったため、子実重は平年対比 120%と多収となった。「エリモショウズ」では、着莢数が平年並で、一莢内粒数及び百粒重が平年をやや下回ったため、子実重は平年対比 96%とやや低収となった。以上のことから、現在の作況はやや良である。
10 月 20 日	平年並	「アカネダイナゴン」の成熟期は平年並であり、着莢数は平年を上回ったが、一莢内粒数、百粒重は平年並で、子実重は平年並であった。子実重の平年対比は品種により異なり、中生以降の品種は平年並からやや下回った。以上のことから、現在の作況は平年並である。
11 月 20 日	平年並	播種期は平年並で、出芽期は高温により平年より 2～5 日早かった。その後も高温に経過したため初期生育は旺盛で、主茎長、本葉数、分枝数ともに平年を上回り、開花始は平年より 2～3 日早かった。8 月下旬以降の多雨により、すべての品種で倒伏が発生した。成熟期は平年より 1～5 日早く、主茎長は平年より長かった。「きたろまん」は、着莢数及び百粒重が平年を上回り、子実重は平年対比 120%となった。「エリモショウズ」は、着莢数は平年並、一莢内粒数及び百粒重が平年をやや下回ったため、子実重は平年対比 96%とやや低収となった。「アカネダイナゴン」は平年並であった。品質は屑粒率が低く、検査等級は平年より優った。以上のことから、今年の作況は平年並である。

※本作況は、十勝農業試験場における生育と収量について平年値との比較に基づき評価しているものであり、十勝管内全体の作況を代表するものではありません。

生育データ

品種名 項目/年次	きたろまん			エリモショウズ			アカネダイナゴン			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.24	5.24	0	5.24	5.24	0	5.24	5.24	0	
出芽期(月日)	6.5	6.10	△5	6.6	6.10	△4	6.7	6.9	△2	
開花始(月日)	7.21	7.24	△3	7.21	7.24	△3	7.23	7.25	△2	
成熟期(月日)	9.12	9.14	△2	9.13	9.18	△5	9.21	9.22	△1	
主茎長 (cm)	6月20日	5.8	3.6	2.2	6.3	4.1	2.2	6.3	4.2	2.1
	7月20日	32.7	16.6	16.1	35.4	18.1	17.3	29.9	16.5	13.4
	8月20日	79.8	62.4	17.4	89.5	68.7	20.8	113.8	66.7	47.1
	9月20日	83.5	66.9	16.6	91.6	73.5	18.1	117.1	73.7	43.4
	成熟期	83.5	66.9	16.6	91.6	74.3	17.3	117.1	73.8	43.3
本葉数 (枚)	6月20日	1.5	0.6	0.9	1.6	0.6	1.0	1.5	0.6	0.9
	7月20日	8.3	6.4	1.9	8.6	6.5	2.1	8.9	6.8	2.1
	8月20日	13.6	11.4	2.2	14.6	12.9	1.7	16.5	14.0	2.5
主茎節 数(節)	9月20日	13.0	12.8	0.2	13.9	14.1	△0.2	17.0	14.8	2.2
	成熟期	13.0	12.8	0.2	13.9	14.1	△0.2	17.0	14.7	2.3
分枝数 (本/株)	7月20日	6.3	3.5	2.8	5.4	3.5	1.9	5.4	3.6	1.8
	8月20日	6.6	4.0	2.6	5.8	4.5	1.3	6.4	5.4	1.0
	9月20日	5.9	3.2	2.7	4.8	4.0	0.8	5.9	4.8	1.1
	成熟期	5.9	3.2	2.7	4.8	3.9	0.9	5.9	4.8	1.1
着莢数 (莢/株)	8月20日	86.0	56.2	29.8	92.0	52.3	39.7	90.1	50.5	39.6
	9月20日	58.2	51.5	6.7	58.8	57.3	1.5	73.9	67.9	6.0
	成熟期	58.2	51.5	6.7	58.8	57.1	1.7	73.9	67.1	6.8
一莢内粒数(粒)	5.97	6.28	△0.31	5.83	6.06	△0.23	3.83	3.95	△0.12	
総重(kg/10a)	683	590	93	639	677	△38	705	611	94	
子実重(kg/10a)	435	363	72	356	370	△14	372	377	△5	
百粒重(g)	16.5	15.4	1.1	13.6	14.0	△0.4	17.8	17.5	0.3	
屑粒率(%)	1.3	2.8	△1.5	1.8	5.1	△3.3	2.4	5.2	△2.8	
品質(検査等級)	2上	3中	-	2上	3中	-	3中	4上	-	
子実重対平年(%)	120	100		96	100		99	100		

備考 1) 平年値は、前7か年中、平成22年(凶作年)及び21年(豊作年)を除く5か年平均である。

2) 着莢数は、8月20日現在が莢の長さが3cm以上、9月20日現在および成熟期が稔実莢を示す。

3) △は平年より早、少、短、軽、低を表す。

耕種概要

一 区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅(cm)	株間(cm)	1株本数	株数(株/10a)	播種日(月日)
12.0	3	えん麦野生種	60	20	2	8,333	5.24
施肥量(kg/10a)							
N	P2O5	K2O	MgO	堆肥	その他		
4	20	11.2	4	なし	なし		

※十勝農業試験場定期作況報告に掲載の記事・図表・写真の無断転載を禁じます。すべての著作権は十勝農業試験場に帰属します。